

海外派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 11/1~11/30)

1. 勉学の状況

今月の初めに、第二回目の中間テストがありました。今回は心理学のA, B両方のクラスとも同じ日程での試験だったので、テスト勉強が大変でした。一回目とテスト様式は同じで、ほとんどが選択式の問題だったのでライティングで困ることはありませんでした。今回は授業の項目を分類して覚えるようにしてテストに挑んだのですが、前回よりもAのクラスの得点が10%以上上がってとても嬉しかったです。心理学は入門の授業と言うこともあり、感覚と受容など、一見すると心理学なのかと思ってしまう分野も含まれているのですが、中には日常生活で共感するものも多く、興味深いです。ただ、教科書が分厚く、一通り読むのに時間がかかります。

今月の終わりには国際関係学のresearch essayの締め切りでした。今回はお題をいくつかの中から選んで書くというものでした。私はグローバル化と文化の均質化について、日本を調査対象として選んで書きました。このエッセイは4枚以上で、文献を五つ以上見つけなければなりません。文献はpeer-reviewのものに限るだとか、コピーを防ぐために専用のサイトを通じて提出するだとか、ライティングに関しては日本よりも厳しいです。この授業の教授がとても親切な方で、授業で分からなかったことや、授業以外の事をオフィスアワーに聞きに行ったりしています。その縁で、教授が担当している他の授業で、ゲストスピーカーとして、実際に難民としてシリアからカナダに逃れてきた生徒さんの話を聞く機会がありました。実際に体験した人の話は心に突き刺さるものがありました。また、その方はシリアについて‘紛争ではなく市民による革命なのに、他国が介入してきて自分たちが始めたこととは全く違う方向に進んでいる’という話もしておられて、自分の認識の間違いにも気づきました。とても貴重なお話でした。

2. 生活の状況

今月は中間テストの後に一週間弱のFall breakがありました。私はレジャイナにとどまってるんびり時間を過ごしました。ランチを食べに行ったり、カフェに行ったりしました。中でも、猫カフェがとてもお気に入り、今月だけで二回も行きました。また、Girl's nightというパーティーに行きました。日本でいう女子会みたいなものです。この大学では日本語の授業が開講されており、さらに、日本にかつて留学していた生徒さんも数名いて、よくホームパーティーに呼んでくれます。

話が変わりますが、今月から大学のアルティメットチームの練習がないため、地域のアルティメットクラブに参加する事にしました。知らない集団の中に入って行くのは、はじめはとても緊張しますが、いろんな人（ほとんどが社会人）とスポーツを通じて知り合えて嬉しいです。屋内のカジュアルなアルティメット大会にも参加しました。運動する機会もできて、一石二鳥です。

レジャイナの気候は、今月の真ん中くらいから日中でもマイナスを超えることがなくなり、気の枝すらも凍っています。寮が大学と連結しているので普段の生活は快適なのですが、外に出るととても寒いです。来月はいよいよ Final exam が待ち構えているので、体調を崩さないように頑張ります。

レジャイナにあるカフェ



氷の世界



家やお店はもうクリスマス仕様です。

